

目的に応じて選択できる多彩な先端ユニットをご用意。

さまざまな部位に効果的な照射がおこなえる、各種先端ユニットを取り揃えています。

照射例

■SG2ユニットの照射例



■PB2ユニットの照射例

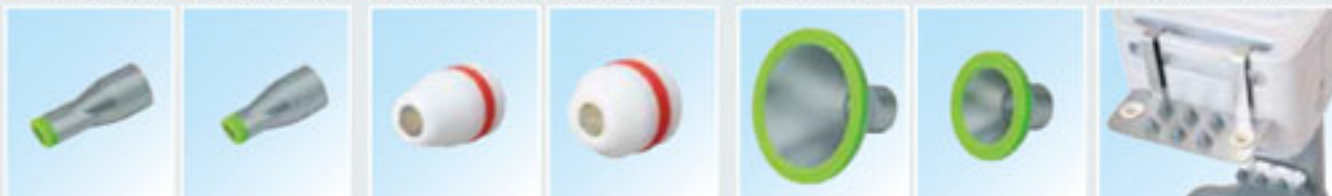


■C2ユニットの照射例



標準ユニット

●SG1タイプ(シングル用) ●SG2タイプ(ダブル用) ●PB1タイプ(シングル用) ●PB2タイプ(ダブル用) ●C1タイプ(シングル用) ●C2タイプ(ダブル用) ●フック式先端ユニットホルダー



照射口径:長径14mm、短径7mm(楕円形) 照射口径:長径14mm、短径7mm(楕円形) 照射口径:10mm 照射口径:9mm 照射口径:66mm 照射口径:38mm 先端ユニットとファイバーを収納できます。

〈頸部への照射などにご使用ください。〉 〈ハンド照射をおこなう際にご使用ください。〉 〈広範囲への照射にご使用ください。〉

オプション

●Y1タイプ(シングル用) ●Y2タイプ(ダブル用) ●PS1タイプ(シングル用) ●PS2タイプ(ダブル用) ●専用トレイ



照射口径:30mm 照射口径:22mm 照射口径:7mm 照射口径:7mm ワゴン下部に取り付け可能な専用トレイです

〈鼻尖部への照射などにご使用ください。〉 〈ハンド照射をおこなう際にご使用ください。〉

- 仕様 Type1/定格電圧:AC100V、電源周波数:50・60Hz、消費電力:220VA、発振波長:0.6 μ m~1.6 μ m
光源:特殊ランプ150W、重量:32kg、寸法:幅495×奥行435×高さ1,445mm
Type2/定格電圧:AC100V、電源周波数:50・60Hz、消費電力:220VA、発振波長:0.6 μ m~1.6 μ m
光源:特殊ランプ150W、重量:35kg、寸法:幅495×奥行435×高さ1,445mm

- 算定診療 消炎鎮痛等処置(器具等による療法):35点 ■医療機器認証番号
報酬項目 皮膚科光線療法(赤外線または紫外線療法):45点 221AGBZX00064000



安全に関するご注意

- ご使用前に、「添付文書」「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 定期的に機器の点検を行ってください。
- この機器には電気工事等が必要な場合があります。お問い合わせ販売店または当社営業所へご相談ください。工事に不備があると感電や火災の原因となることがあります。

※製品のデザイン・仕様は改良のため予告なく変更されることがあります。

お問い合わせ先



Tokyo ken 東京医研株式会社
URL <https://www.tokyoiken.co.jp>

本社 〒206-0802 東京都稲城市東長沼1131-1
TEL 042-378-6630

- 営業部 TEL 042-318-8324 ■名古屋支店 TEL 052-726-8971
■仙台支店 TEL 022-773-3060 ■大阪支店 TEL 06-7223-8971
■埼玉支店 TEL 048-615-0800 ■中国支店 TEL 082-831-3616
■東京支店 TEL 042-318-8334 ■福岡支店 TEL 092-642-7288

Tokyo ken

SUPER LIZER PX

赤外線療法で初めてのパルス照射



パルスが可能にした高出力。より深部へ、より安全に光線療法がおこなえます。



「スーパーライザー」は、光の中で最も生体深達性の高い波長帯の近赤外線 (0.6 μ m~1.6 μ m) を高出力でスポット状に照射できる光線治療器。

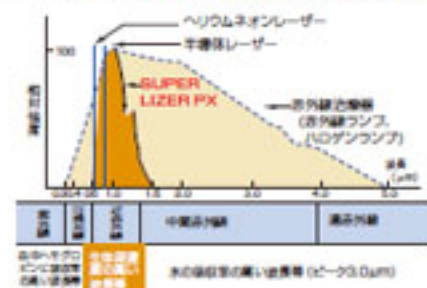
その効果はペインクリニックをはじめ各科で認められ、医療現場で幅広く利用されています。そして、いま高出力パルス照射の採用で、より優れた治療効果とより高い安全性を両立させた光線治療器の進化型「スーパーライザーPX」が誕生しました。

- 場所を取らないコンパクト設計で、取り扱いがラク。
- シングルと、同時に2カ所照射できるダブルの2タイプ。
- 複雑な設定のいらないシンプル操作。
- 目的に応じて選択できる多彩な先端ユニットをご用意。
- 下半身への照射を可能にし、フレキシブル装着アーム採用

1 生体深達性の高い複合波長

「スーパーライザー」は生体深達性の高い波長帯 (0.6 μ m~1.6 μ m) だけを光学フィルターで取り出した光線治療器として理想的な構造をしています。半導体レーザーのような単一波長ではなく、幅広い波長帯を有する複合波長であるため、深い患部まで確実に到達し、心地よい温感とともに複数の波長帯に係る生体効果が期待できます。

スーパーライザーPXの発振波長特性

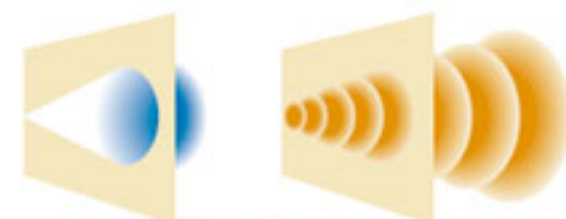


2 パルス照射で高出力を実現

「スーパーライザーPX」は、パルス照射を採用することで、従来の2.2Wを格段に上回る高出力を実現しました。これにより生体深達性をさらに高めるとともに、治療時間を短縮。しかも、高出力で照射範囲が広がるため、より簡単に赤外線療法がおこなえるようになりました。

生体深達性の比較イメージ

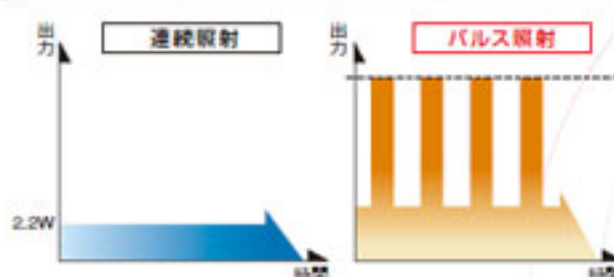
■スーパーライザーHA-2200 ■スーパーライザーPX



3 連続照射に比べ、安全性も向上

最高出力が2.2Wの従来の「スーパーライザー」でも、連続照射では皮膚温度上昇にともなう安全面の懸念がありました。そのためセーフティプログラム等の安全対策を施してはいましたが、「スーパーライザーPX」はパルス照射のため、心地よい温熱感以上に皮膚温度が上昇する心配がありません。また万一の場合に備え、自動制御装置を内蔵しています。

連続照射とパルス照射の比較イメージ



4 アーム位置可変機能搭載

アームポジションを下部フレームに移動設置できます。この機能により腰や膝などの下腿部への照射が容易になりました。フレキシブルなアーム可動域にて下肢末端まで、ストレスなく照射できます。患者さんの着座での照射もラクにおこなえます。

SUPER LIZER PX Type1
高出力で高い治療効果を発揮する
シングルファイバータイプ



ノーマルポジション



フットポジション

SUPER LIZER PX Type2
同時に2カ所の照射ができる
ダブルファイバータイプ



ノーマルポジション



フック式先端ユニットホルダー
全てのユニットが収納できます。さらにプローブの一時置きスペースも確保しました。



視認性の向上
操作パネルは清潔感のあるライトホワイト、設定ダイヤルはライトブルーを採用しました。